足助　地域カルテ

2019 年　12 月版

足助 地域会議・ 足助 支所

この地域について簡単にまとめると

■「これまで15年」と「これから15年」の人口推移

①人口	おおむね これまでの 15年間で (2000年→2015年)	0.8 倍に減少	→ おおむね これからの 15年間で (2015年→2030年	0.8 倍に減少
②子ども		0.6 倍に減少		1.0 倍で変化なし
③若い世代（生産年齢）		0.7 倍に減少		0.6 倍に減少
④高齢者		1.1 倍に増加		0.9 倍に減少
⑤後期高齢者		1.4 倍に増加		0.9 倍に減少
⑥前期高齢者		0.8 倍に減少		0.8 倍に減少
⑦85歳以上		**1.9 倍に増加**		0.8 倍に減少
⑧③と⑥の負担		**2.7 倍に増加**		1.1 倍に増加

		2000年		2015年		2030年
⑦85歳以上	100人に	3 人	→	8 人	→	8 人
⑨世帯あたり人口	1世帯に	3.60 人		2.98 人		2.75 人
⑩18歳未満同居世帯	100軒に	31 軒		21 軒		25 軒
⑪高齢者のみ世帯		20 軒		26 軒		29 軒
⑫三世代同居世帯		33 軒		19 軒		13 軒

■その他地域カルテから言える特徴的な点

充実した生活基盤	が	山村地域の住みやすさの源になっている
観光資源や文化伝統の継承		地域への誇りや愛着の源になっている
移住定住施策に活発な地域		18歳未満同居率を高めている

目　次

この地域について簡単にまとめると	・・・・・・・・・・・・・	1
概　要	・・・・・・・・・・・・・	3
人口推移等	・・・・・・・・・・・・・	4
健康福祉	・・・・・・・・・・・・・	8
安全安心（防犯・交通安全・防災）	・・・・・・・・・・・・・	8
地域住民のまちに対する意識	・・・・・・・・・・・・・	9
地域住民のまちづくりへの参加	・・・・・・・・・・・・・	10
地域自治システムの運用状況	・・・・・・・・・・・・・	13

地域カルテとは

・地域の特徴を中学校区ごとにまとめたもので、地域住民（地域会議）と事務局（各支所）が共働で作成し、毎年度更新を行っています。

・このカルテでは、地域が

「①今どういった状況（概況）なのか」

「②将来どのようになるのか（※人口についてのみ）」

「③地域の自治（自分たちでまちづくりを行うこと）に対する意識」

を把握することができますので、地域課題の発見にぜひご活用ください。

概　要

足助地域は、昭和30年に１町３村の合併により誕生し、旧足助町は、平成17年に周辺５町村とともに豊田市へ編入した。区域の約87%を山林が占め、地区東部は寧比曽岳（標高1,120m）などの山々が続く一方、西端では標高80mとなる東高西低の地形。

15自治区74自治会からなり、小規模集落が山間に点在している。足助地域内の人口は、昭和前期より一貫して減少傾向にあり昭和25年からほぼ半減、高齢化が進む。

（平成３１年４月１日現在）

面積		193.12 km^2	（市比　21.0%　）[市	918.32 km2]
人口密度		40 人/km^2	（市比　8.6%　）[市	463 人/km^2]
人口		7,647 人	（市比　1.8%　）[市	425,340 人]
	男性	3,750 人	（市比　1.7%　）[市	222,461 人]
	女性	3,897 人	（市比　1.9%　）[市	202,879 人]
うち外国人人口		46 人	（市比　0.3%　）[市	17,735 人]
世帯数		2,833 世帯	（市比　1.6%　）[市	181,418 世帯]
平均年齢		53.37 歳	（市比　10.3歳　）[市	43.06 歳]

■都市基盤

主要道路

国道２路線（153号、420号）、瀬戸設楽線はじめ主要地方道4路線と一般県道１０路線がある。

公共交通

とよたおいでんバス（旭・足助線、稲武・足助線、さなげ・足助線）名鉄バス（矢並線、岡崎・足助線）足助地域バス（地域巡回線、通学線）

公共施設

高校(1)、中学校(1)、小学校(10)、こども園等(5)、警察署(1)、交番・駐在所(3)、消防署(1)

足助交流館、足助グラウンド、足助トレーニングセンター、ふれあいセンター萩野、足助資料館、足助中馬館、足助子育て支援センター、足助地域包括支援センター、足助給食センター、あすけ水の館、百年草、里山暮らし体験館「すげの里」、三州足助屋敷、足助城

医療機関

病院(1)：足助病院
医科(1)：小石川医院
歯科(3)：鈴木歯科医院、みゆき歯科室、中野歯科医院

■地域資源

観光資源

香嵐渓、百年草、神越渓谷ます釣り場、三州足助屋敷、足助の古い町並み（重要伝統的建造物群保存地区）、足助八幡宮、足助城、白鷺温泉、伊勢神峠、風天洞、足助みたち栗園、足助アートエリア鼎（御内製作工房）

特産品

鮎、五平餅、しし肉、自然薯、米（ミネアサヒ）、白たまり

イベント

香嵐渓のカタクリ（3月～4月）、足助春まつり（４月）、あすけルネッサンス（5月）、たんころりんのキャンドルナイト（6月）、足助夏祭り（8月）、足助まつり（10月）、香嵐渓もみじまつり（11月）、中馬のおひなさん（2月）

人 口 推 移 等

	1995年		2000年		2005年		2010年	
計	10,315		9,852		9,256		8,622	
男 女	5,040	5,275	4,817	5,035	4,494	4,762	4,188	4,434
2015年比	131	130	126	124	117	118	109	110
0-14歳	1,628		1,383		1,065		898	
男 女	875	753	744	639	562	503	458	440
15-64歳	6,197		5,642		5,227		4,856	
男 女	3,087	3,110	2,834	2,808	2,662	2,565	2,510	2,346
高齢者数	2,490		2,827		2,964		2,868	
率（人口比）	24.1%		28.7%		32.0%		33.3%	
後期高齢者数	1,057		1,232		1,561		1,741	
男 女	425	632	481	751	631	930	717	1,024
率（同）	10.2%		12.5%		16.9%		20.2%	
65-74歳	1,433		1,595		1,403		1,127	
男 女	653	780	758	837	639	764	503	624
率（同）	13.9%		16.2%		15.2%		13.1%	
85歳以上	260		336		420		494	
男 女	100	160	111	225	146	274	166	328
2015年比	41	39	45	55	60	67	68	80
率（同）	2.5%		3.4%		4.5%		5.7%	
総世帯数	2,673		2,709		2,690		2,641	
一般世帯数	2,669		2,706		2,680		2,636	
世帯当たり人数	3.82		3.60		3.39		3.22	
6歳未満同居	352		290		238		220	
18歳未満同居	1,024		846		742		608	
率（全世帯比）	38.4%		31.3%		27.7%		23.1%	
65歳以上単身	165		203		248		253	
65歳以上夫婦	229		351		370		336	
高齢者のみ世帯	394		554		618		589	
率（同）	14.8%		20.5%		23.1%		22.3%	
三世代同居	1,241		905		795		660	
三世代同居率	46.5%		33.4%		29.7%		25.0%	
75歳以上 要介護3以上							160	
75歳以上 要介護1-2							179	
75歳以上 要支援1-2							74	

◎２０１５年を「１００人の村」に換算すると･･･

		1995年	2005年	2015年	2025年（推計）	2035年（推計）
	総数	131	117	100	83	69
	0-14歳	21	14	10	10	10
	15-64歳	79	66	52	37	30
	65歳以上	32	38	38	36	29
地域活動のボリュームゾーン	65-74歳(A)	18	18	15	16	10
	75歳以上	13	20	23	20	19
何らかのお手伝いが必要な年齢層	85歳以上(B)	3	5	8	8	7
何人で１人のお手伝いをするか	（A）÷（B）	6	4	2	2	1

出典：国勢調査を基にコーホート変化率法を用いて推計

2015年		2020年（推計）		2025年（推計）		2030年（推計）		2035年（推計）	
7,884		7,205		6,558		5,954		5,410	
3,836	4,048	3,511	3,694	3,216	3,342	2,935	3,018	2,679	2,731
100	100	92	91	84	83	77	75	70	67
796		804		790		778		769	
407	389	415	389	425	365	425	353	424	344
4,102		3,438		3,190		2,590		2,338	
2,087	2,015	1,749	1,690	1,500	1,690	1,318	1,272	1,207	1,131
2,986		2,963		2,813		2,586		2,303	
37.9%		41.1%		42.9%		43.4%		42.6%	
1,777		1,571		1,591		1,589		1,505	
720	1,057	625	946	692	899	704	886	664	841
22.5%		21.8%		24.3%		26.7%		27.8%	
1,209		1,392		1,222		996		798	
622	587	722	670	599	623	489	507	384	415
15.3%		19.3%		18.6%		16.7%		14.8%	
652		693		628		502		552	
244	408	261	432	220	408	175	327	228	324
100	100	107	106	90	100	72	80	93	79
8.3%		9.6%		9.6%		8.4%		10.2%	
2,601		2,549		2,515		2,486		2,482	
2,597		2,458		2,304		2,128		1,957	
2.98		2.88		2.80		2.75		2.72	
200		194		201		208		216	
550		514		520		523		530	
21.2%		20.9%		22.6%		24.6%		27.1%	
315		329		328		309		280	
364		359		344		316		282	
679		688		672		625		562	
26.1%		28.0%		29.2%		29.4%		28.7%	
489		396		320		269		231	
18.8%		16.1%		13.9%		12.7%		11.8%	
177		141		143					
168		172		175					
101		128		130					

◎人口推計グラフ（上記表から作成）

■１８歳未満同居率／高齢者　　出典：最新年度国勢調査（小地域集計）　※市推計は地域支援課作成

A・・・子ども・子育て支援活動が重要な地域

B・・・健康づくり・くらしを支える活動が重要な地域

■住居

出典：最新年度国勢調査

一般世帯数	2,597 世帯	（ 100.0% ）			
持ち家	2,437 世帯	（ 93.8% ）	給与住宅	13 世帯	（ 0.5% ）
公営等の借家	24 世帯	（ 0.9% ）	間借り	8 世帯	（ 0.3% ）
民営の借家	72 世帯	（ 2.8% ）	住宅以外	43 世帯	（ 1.7% ）

■学校区別データ

出典：住民基本台帳（各年4.1時点）、学校基本調査等（各年5.1時点）

小学校区別人口

中学校生徒数

小学校児童数（単位：人）

①足　助小学校区

②冷　田小学校区

③追　分小学校区

④佐　切小学校区

⑤則　定小学校区

⑥萩　野小学校区

⑦明　和小学校区

⑧新　盛小学校区

⑨大　蔵小学校区

⑩御　蔵小学校区

健康福祉

■健康・福祉

出典：地域健康カルテ

		2017		2016	2015
介護保険認定者		603 人	[市 13,045 人]	634 人	623 人
		19.9 %	[市 14.0 %]	20.6 %	20.2 %

市国民健康保険特定健康検査（対象40～76歳）			2017		2016	2015
	BMI（25以上）	男性	26.3 %	[市 26.4 %]	17.8 %	22.8 %
		女性	19.2 %	[市 20.6 %]	18.7 %	20.5 %
	HbA1c ※糖尿病の検査項目（5.6%以上）	男性	66.2 %	[市 68.1 %]	76.7 %	74.0 %
		女性	70.2 %	[市 67.7 %]	72.2 %	68.5 %
	LDLコレステロール（120mg/dl以上）	男性	50.2 %	[市 48.9 %]	52.1 %	48.0 %
		女性	57.8 %	[市 57.6 %]	55.7 %	57.9 %
	収縮期血圧（130mmHg以上）	男性	53.0 %	[市 47.4 %]	48.7 %	51.6 %
		女性	53.1 %	[市 42.8 %]	54.2 %	50.5 %

問診	男性（2017年）		女性（2017年）	
喫煙者	24.8 %	[市 20.7 %]	4.8 %	[市 3.6 %]
20歳から１０kg以上の体重増加	35.4 %	[市 39.7 %]	22.7 %	[市 24.8 %]
運動習慣なし	66.9 %	[市 49.1 %]	69.6 %	[市 56.1 %]
身体活動なし	51.2 %	[市 44.5 %]	49.1 %	[市 46.9 %]
夕食後の間食	18.1 %	[市 13.4 %]	20.1 %	[市 16.5 %]
朝食欠食	10.2 %	[市 6.5 %]	2.2 %	[市 3.7 %]
飲酒習慣	66.9 %	[市 62.8 %]	18.3 %	[市 23.4 %]
生活習慣の改善意思なし	58.7 %	[市 44.7 %]	53.1 %	[市 42.6 %]

安全安心（防犯・交通安全・防災）

■防犯

出典：愛知県警察本部提供データ

身近な犯罪の認知件数	2018	0 件（ワースト 28 位） [市 917 件]		
		① 0 0 件	② 0 0 件	③ 0 0 件
	2017	12 件（ワースト 23 位） [市 1,166 件]		
		① 侵入盗 7 件	② 部品ねらい 3 件	③ 車上ねらい 2 件
	2016	11 件（ワースト 23 位） [市 1,178 件]		
		① 侵入盗 6 件	② 部品ねらい 2 件	③ 自動販売機ねらい 2 件

■交通安全

出典：愛知県警察本部提供データ

交通事故発生件数	2018	27 件（ワースト 18 位） [市 1,565 件]		
		人対車 4 件	車対車 22 件	その他 1 件
	2017	33 件（ワースト 18 位） [市 1,866 件]		
		人対車 1 件	車対車 25 件	その他 7 件
	2016	43 件（ワースト 19 位） [市 2,006 件]		
		人対車 4 件	車対車 30 件	その他 9 件

■防災

出典：福祉総合相談課、防災対策課所有データ

避難行動要支援者名簿	対象者数 358 人（ 同意者数 301 人 同意率 84 %） [市 8,120 人（ 6,305 人／ 77.6 %）]

地震被害予測

※1 過去地震最大モデル（冬夕方発災）
※2 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある
※3「＊」は0.1%未満

震度面積率				建物被害			
7	0.0 %	[市 0.0 %]		全壊・焼失	41 棟	[市 677 棟]
6強	0.0 %	[市 ＊ %]		揺れ	5 棟	[市 502 棟]
6弱	4.8 %	[市 23.2 %]		液状化	0 棟	[市 25 棟]
5強	95.2 %	[市 76.8 %]		急傾斜地	36 棟	[市 108 棟]
5弱以下	0.0 %	[市 0.0 %]		火災	0 棟	[市 41 棟]
人的被害				半壊	205 棟	[市 4,813 棟]
死者数	3 人	[市 27 人]		揺れ	122 棟	[市 4,405 棟]
重傷者数	2 人	[市 66 人]		液状化	1 棟	[市 155 棟]
軽症者数	17 人	[市 492 人]		急傾斜地	83 棟	[市 253 棟]
避難者数（1週間後）	998 人	[市 47,345 人]				

地域住民のまちに対する意識

豊田市の住みよさ満足度

出展：市民意識調査

※選択肢「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計

今住んでいるところへの定住意識

出展：市民意識調査

※選択肢「今のところに住みたい」

市の施策満足度（地域の満足度が高い順）

出典：市民意識調査

満足度	第１位		第２位		第３位	
１８・１９及び２０歳代	公園・緑地の整備	6.25	地産地消の推進	6.00	医療提供体制の充実	5.67
３０歳代	子育て支援の充実	5.60	学校教育の充実	5.00	青少年の育成	5.00
４０歳代	企業活動の活性化	5.83	環境率先行動の促進	5.25	水辺環境等の水資源の確保	5.20
５０歳代	良好な景観の形成	4.64	生きがい型農業の促進	4.46	水辺環境等の水資源の確保	4.46
６０歳代	郷土の歴史・文化の継承	5.20	医療提供体制の充実	4.92	地産地消の推進	4.88
７０歳代以上	医療提供体制の充実	5.55	食生活の安心	5.17	市民による地域づくり	5.09
地区内全年代	郷土の歴史・文化の継承	4.90	医療提供体制の充実	4.89	地産地消の推進	4.79
（参考）全市	企業活動の活性化	5.32	医療提供体制の充実	4.93	消防・救急体制の充実	4.93

※満足度を１～７の７段階で評価した平均値

地域課題（地域の課題認識が高い順）

出典：地域自治システム評価アンケート（地域支援課）

課題度	第１位		第２位		第３位	
２０歳代	交通安全対策の推進	80.0%	医療の充実	60.0%	観光によるまちづくりの推進	60.0%
３０歳代	子育ての支援の充実	70.0%	福祉対策の充実	60.0%	高齢者の生きがいづくりの場などの充実	60.0%
４０歳代	郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	66.7%	市街地の活性化と魅力づくりの推進	66.7%	観光によるまちづくりの推進	66.7%
５０歳代	買い物の不便の解消	81.8%	空き家や耕作放棄地の対策の強化	81.8%	生活道路・交通をスムーズにすること	72.7%
６０歳代	交通安全対策の推進	58.3%	豊かな自然環境の保全	54.2%	医療の充実	50.0%
７０歳代以上	公共交通機関の充実	53.8%	鳥獣害対策の強化	53.8%	交通安全対策の推進	50.0%
地区内全年代	交通安全対策の推進	55.2%	若年層の定住促進策の拡充	52.9%	医療の充実	51.7%
（参考）全市	交通安全対策の充実	53.9%	医療の充実	47.2%	生活道路・交通をスムーズにすること	45.4%

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

地域住民のまちづくりへの参加

■自治区やＮＰＯ等の活動状況

出典：地域支援課所有データ等

自治区位置図

自治区加入率

加入率	86.4	%	加入世帯数	2,447	世帯
［市	80.9	%］	住基世帯	2,833	世帯

自治区加入率推移

(単位：世帯、%)

自治区一覧

自治区名	世帯数	組数	回覧数
足助	534	52	61
追分	212	19	20
則定	218	23	23
佐切	157	6	29
冷田	199	36	35
萩野	212	34	45
明和	176	16	16
大多賀	18	2	2
椿立	50	9	10
足助大見	77	14	14
御内	19	4	5
新盛	179	22	27
大蔵	199	33	32
御蔵	150	20	20
大河原	47	9	9
合計	2,447	299	348

※世帯数は自治区から報告されたものであり
隣接した中学校区の一部を含む場合あり

自治区・地域活動への参加

出典：市民意識調査

※「よく参加している」「ときどき参加している」の合計

ＮＰＯ・ボランティア活動への参加

出典：市民意識調査

※「継続的に参加している」「ときどき参加している」の合計

ＮＰＯ・ボランティア活動の状況

健康

交流館自主グループ	5 団体	わくわく事業関連団体	団体
スポーツ推進委員	8 名	ヘルスサポートリーダー	28 名
高齢者クラブ	4 団体	その他団体	23 団体

活動例：【国谷健康ひろば「煌」】
　地域住民の健康寿命の維持を図るため、月２回地元の道場に集まって健康体操を実施している。心身の健康アップだけではなく、地域の住民のコミュニケーションの場にもなっている。

ｺﾒﾝﾄ：高齢者の健康づくりの意識が高く、各地域で集会所を拠点とした活動（おしゃべり、グランドゴルフ等）が多くある。

福祉

交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体
民生委員児童委員	25 名	お元気ですかﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	名
ささえあいネット	163 団体	その他団体	団体

活動例：【なすびの会】
　中山間の障がい者が、自分の住む地域の中で社会とのつながりを大切にして、いきいきと働くことを目的として設立。有機肥料で野菜を栽培し、地元の産直広場で販売するなどの活動をしている。

ｺﾒﾝﾄ：今後は1人暮らし高齢者の増加が予想されるため、地域と各種団体が連携して地域福祉を担う必要がある。

観光・産業

交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
その他団体	10 団体	－	
－		－	

活動例：【たんころりんの会】
　平成14年に地元の有志により設立。「たんころりん」は足助の夏祭りの風物詩になっている。
【麺の会】 平成27年に若手有志が中心となり設立。竹筒で作った「竹灯り」を考案・製作し、もみじまつりのイベント「竹灯りの香積寺」を運営している。

ｺﾒﾝﾄ：足助の町並みを生かしたイベントを開催しており、観光客の集客に大いに貢献している。

伝統・文化

交流館自主グループ	22 団体	わくわく事業関連団体	団体
その他団体	15 団体	－	
－		－	

活動例：【あすけ聞き書き隊】
　若い世代が地域のお年寄りからお話を「聞き書き」することによって、足助の歴史・伝統・慣習などを幅広く伝える活動をしている。
【五反田棒の手保存会】 小中学生に棒の手を指導し、足助地区内外の各種イベントで演武を披露している。

ｺﾒﾝﾄ：各地域で、地域の歴史と文化を後世に残す取り組み（郷土誌の編集、旧跡の保存等）が行われている。

環境・景観

交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	4 団体
その他団体	38 団体	－	
－		－	

活動例：【阿摺川の清流を愛する会】
　「阿摺川上流」の自然環境と住民が憩いの場をを地域の財産として保全する活動をしている。

ｺﾒﾝﾄ：各地域で地域の資源を活かした取り組み（花桃の植樹、川の整備等）を行っている。

安全・安心

交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
自主防犯団体	14 団体	自主防災会	団体
消防団	249 名	その他団体	団体

活動例：【足助レディースパトロールセキュリティー隊】
　平成16年に足助警察署管内に在住する女性のボランティアの団体として設立。子供や高齢者に対する防災教室の実施、地域の防犯パトロール等の活動を行っている。

ｺﾒﾝﾄ：各地域で、小学生の登下校を見守るスクールガード、自主防災会による防災訓練等を実施している。

子どもの健全育成

交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体
主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	7 団体
その他団体	団体	－	

活動例：【めだかの学校】
　中山間地域で子育てをする母親たちを支援するため、1年を通して様々な子育てイベントを実施している。

ｺﾒﾝﾄ：子どもの健やかな発育に貢献するだけではなく、子育てする親の仲間作りの場にもなっている。

自治振興

交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
その他団体	9 団体	－	
－		－	

活動例：【萩野NPO結の家】移住定住のために、先進地視察や交流事業などを行い持続可能な地域づくりを行っている。

ｺﾒﾝﾄ：地域活性化のため各地域で様々な活動が行われているが、担い手不足の問題を抱えている団体も多い。

その他1

【　　】

ｺﾒﾝﾄ：

その他2

【　　】

ｺﾒﾝﾄ：

■地域活動に対する地域住民の意識（自治力）

足助　豊田市　（単位：%）

A.住民参加型のまちづくりが進められていると思うか

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

B.地域会議が地域の意見を集約できていると思うか

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

C.わくわく事業へ参加したいと思うか

※「参加したい・している」「きっかけがあれば参加したい」の合計

D.わくわく事業の活動が地域のためになっていると思うか

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

E.地域予算提案事業の活動が地域のためになっていると思うか

※「思う」「どちらかといえば思う」の合計（複数事業の平均値）

F.地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着の有無

※「持っている」「どちらかといえば持っている」の合計

足助　豊田市

採点基準

5 ・・・ 市平均の1.2倍以上
4 ・・・ 市平均の1.1倍以上～1.2倍未満
3 ・・・ 市平均の0.9倍以上～1.1倍未満
2 ・・・ 市平均の0.8倍以上～0.9倍未満
1 ・・・ 市平均の0.8倍未満

出展：地域自治システム評価アンケート

地域自治システム（地域会議・わくわく事業・地域予算提案事業）の運用状況

わくわく事業実績

出典：各支所保有データ（最新年度については当初交付決定状況）

事業分類	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
①保健、医療、福祉の推進				1	1					
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興		1	5	4	3	3	3	3	4	3
③安心・安全な地域づくり	1							1		
④地域の生活環境改善、景観づくり　自然環境保全	9	9	4	8	5	6	6	4	4	4
⑤子どもの健全育成	1					1				
⑥地域の特性を生かした産業振興	1	2								
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業									1	1
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業	1		1	1	1	2	2	1		
事業件数（件）	13	12	10	14	10	12	11	9	9	8
実績額（千円）	4,897,000	3,911,000	4,800,000	4,097,000	2,964,000	4,020,000	4,885,000	3,832,000	3,594,000	3,129,000

地域予算提案事業実績

出典：各支所保有データ（最新年度については当初予算）

事業名	事業分類	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
おためし体験と交流から始まる定住促進事業	定住対策	1,767	1,568								
歴史・伝統文化等保存事業	文化活動	479	479								
耕作放棄地防止事業	農業振興	1,707	2,375	2,254	2,020						
空き家の提供支援による定住促進事業	定住対策			22	20	－	－	383	383	43	140
足助通信によるＵターン促進事業	定住対策			340	227	248	333	461	498	619	661
森と緑の里山づくり推進事業	自治振興					18,056	17,839	18,993	19,106	15,303	18,893
地域活動応援事業	自治振興									71	242
実績額（千円）		3,953	4,422	2,616	2,267	18,304	18,172	19,837	19,987	16,036	19,936

地域自治システム認知度

出典：地域自治システム評価アンケート（地域支援課）

◎地域会議

◎地域の地域予算提案事業

◎地域のわくわく事業

地域まちづくりビジョン

足助地域ビジョン（2016～2021）

足助　地域カルテ

2019 年　　12 月版

発行：　足助 地域会議・　　足助 支所

問合せ：　足助 支所　（　足助　地域会議事務局）

〔電話　　0565-62-0601　　〕

〔Ｅメール　asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp　〕